

(3) てこが解錠しているのに相当位置に納まらなかった場合。

10 制動不良

軌道貨車制動装置が制動しなければならないときに制動しなかった場合。

11 警報不良

車内警報装置およびなだれ、落石警報装置が、警報しなければならないときに警報しなかった場合。

12 現示不良

(1) 色灯式信号機が同一機構に2以上の信号を現示した場合、または2以上の信号を交互に現示した場合。

(2) 腕木式または灯列信号機が不正確な信号を現示した場合。

13 現示不能

信号機が信号腕の脱落、または消灯等のため相当信号を現示しなかった場合。

14 制限信号現示

信号機が正当信号現示よりも運転上の制限の大きい信号（停止信号以外）を現示した場合。

15 停止信号現示

信号機が進行を指示する信号を現示しなければならないときに、停止信号を現示した場合。

16 表示不良

(1) 進路表示機が不明確な表示をした場合。

(2) 入換標識が不明確な表示をした場合、および「線路が開通しているとき」の表示をしなければならないときに「線路が開通していないとき」の表示をした場合。

17 表示不能

(1) 入換標識が消灯その他のため、表示をしなかった場合。

(2) 進路表示機、進路予告機または線路表示器が表示しなければならないときに表示をしなかった場合。

(3) 双信閉そく器の表示腕が開通位置とならなければならないときに、開通位置とならなかった場合。または閉そく位置とならなければならないときに、開通位置のまま動かなかった場合。

(4) 排煙幕表示器が排煙幕の状態を表示しなければならないときに、相当の表示をしなかった場合。

18 制動不良

軌道貨車制動装置が制動する必要のないときに制動した場合、および所要圧力以外の圧力で制動した場合。

19 警報不良

(1) 踏切警報機が警報作用をしなくてもよいときに警報した場合、および不完全な警報をした場合。

(2) 車内警報装置およびなだれ、落石警報装置が、警報しなくてもよいときに警報した場合、および不完全な警報をした場合。

20 開扉不良

自動踏切し断機が開扉しなければならないときに閉鎖したままであった場合、および不完全な開扉をした場合。

21 その他

その他前各号にあてはまらない各種の障害および電源側の故障、事故や災害による被害、盗難等に起因するもの。(西沢 毅)

しんこうのてい い 信号の定位 (英) normal position of signal 列車または車両の運転に使用していないとき常に信号機に現示しておく信号をいう。

信号機は列車または車両の運転に対して、進行・停止・速度制御等の一定の条件を指示する重要なものであるから、その取扱は最も正確にしなければならない。したがって列車または車

両の運転に使用していないときには、どのような信号を現示させておくかを定めているのである。

このように信号の定位を一定しておくことによって、列車または車両に対して信号を現示させるときの取扱に、誤りのないようにしているのである。(三和達忠)

しんこうはんのうき 信号反応器 (英) signal repeater (独)

Signalrückmelder (仏) repliche de signal A型信号機に限らず、すべて腕木式信号機を使用する場合、信号機が地形・曲線のため取扱者の位置から見通し困難または不能の場合に設備されるものである。信号てこを反位にしても信号腕が45°

まで降下しなかったり、てこを定位にもどしても水平位置に返らなかったりしては困るので、そのたびごとに信号扱者は確かめる必要がある。遠方信号機だけでなく、場内や出発信号機でも扱者からその現示が見にくいような場合には、信号扱所内にこれをつけて信号機の腕木の状態を表示させる。この反応器(レピーター)には、2位式と3位式があり、2位式はA型信号機や単灯型信号機を遠方信号機として使用したとき、3位式は機械腕木式信号機に用いられる。

2位式の信号反応器は常時電流のないときは、反応腕は信号腕と同じく水平となっているが、電流が送られると線輪が励磁され、アーマチュアを左に倒し、反応腕は下向45°の状態となる。電流が断たれると反重片の重さで反応腕は元の水平位置にもどる(図-1)。

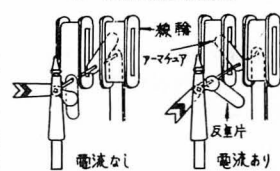
3位式の信号反応器は線輪に電流のないときは、アーマチュアは反重片の重さで中央の位置に静止し、反応腕は定位と反位の中間の「不良」の位置にある(この不良とは位置の名称であって、故障の意味ではない)。

信号機の腕が定位(停止信号)のときは、正方向の電流が送られ、アーマチュアは右側に傾き、反応腕は水平の位置になる。信号腕が反位(進行信号)となれば、前とは逆の方向の電流が流れるので線輪はアーマチュアを左側に傾け、反応腕は下向45°となる(図-2)。信号反応器はこのように、常に信号機の腕と同じ位置になければならないが、反応器と信号機の関連はA型信号機では、信号機構内にある回路制御器の接点スイッチの役目をし、反応器の動作電流を継続する。機械信号機ではそのような機構がないので、信号機柱に腕接触器(アームコンタクト)を取付け、接続かんで信号腕と結びつけ、信号腕の上下に応じてこの接触器の接点を開閉して、反応器への電流を制御する。

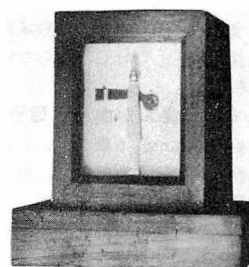
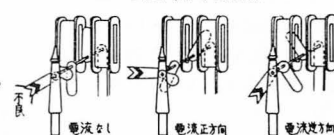
→腕接触器。(西沢 毅)

しんこうブラケット 信号ブラケット (英) signal bracket (独) Signalkandelaber (仏) erchet à signal 信号機を建てる場合、1箇所に数基を必要とするとき、あるいは建築限界や見通しの関係などで適当の場所のない場合は、地上約5mの高

1. 2位式信号反応器



2. 3位式信号反応器



3. 信号反応器